

柚木川内キャンプ場を清掃

松浦ロータリークラブ

松浦ロータリークラブ（山本規仁会長）が6月21日、柚木川内キャンプ場の清掃活動を行いました。

同会は、7月1日のキャンプ場開きを前に、快適に施設を利用してもらおうと、30年前から毎年清掃活動を実施しています。同会では、この日をボランティアに力を入れる「ロータリーデー」と設定し、地域貢献に取り組みました。

この日参加した会員や地域の住民など約40人は、周辺道路やキャンプ場内の草刈り、トイレや炊事場、バンガローなどの施設を清掃して汗を流しました。



いつまでもお元気で

鬼塚二郎さん 100歳の誕生日

鬼塚二郎さん（志佐・池成）が6月24日、100歳の誕生日を迎えました。

鬼塚さんは大正4年生まれ。若いころから農業に従事されてきました。子2人、孫4人、ひ孫11人に恵まれ、現在は、デイサービスを利用するなど、楽しく過ごされています。

毎晩、晩酌を楽しみ、好き嫌もなく何でも食べることが長生きの秘訣とのこと。

この日は、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け取りました。



まちの話題

Matsuura City Topics

みんなで一緒に楽しもう！

ふれあい運動会

園児とお年寄りが一緒に楽しむ「ふれあい運動会」（今福公民館主催）が6月17日、今福保育所で開催されました。今福長寿会（二村英喜会長）の会員や保護者など約40人と今福保育所の3歳から5歳児65人が参加しました。

この日、園児とお年寄りは「かけっこ」や「玉入れ」、「ジャンケン自動車ポップ」などの競技と一緒に出場しました。

競技の後には、園児たちから肩たたきのプレゼントもあり、参加した人は楽しいひとときを過ごしました。



地域の福祉のために

福祉の里松浦作業所

社会福祉法人長崎県共同募金会から社会福祉法人長崎輪会（田中廣太郎理事長）へ利用者の送迎用の車両が贈呈され、福祉の里で6月17日、お披露目が行われました。

これは、長崎県共同募金会が障害を持つ人が利用する施設に対し、福祉車両「赤い羽根号」の配備などを行う事業によるもので、福祉の里に車両が寄贈されました。

福祉の里の田中理事長は、「このたび、皆さんの善意に支えられた車両の寄贈を受けられたことは大変うれしく思います。大事に使わせていただきます」と話しました。



将来の夢に向かって

池田^{よしふみ}榮史教授の特別講義

鷹島神崎遺跡で元寇船を発見した琉球大学の池田榮史教授が6月29日、御厨中学校で「蒙古襲来を研究する」と題して特別講義を行いました。

池田教授は、鷹島神崎遺跡の調査研究成果を交えながら、水中考古学の魅力、自らの経験を通じて、夢を持ち努力することの大切さを話し、生徒たちを激励しました。

講義に参加していた同中学校全校生徒178人、教職員のほか地域住民は話に引き込まれ、興味深く熱心に聞き入っていました。



1周年の感謝を込めて

のき市1周年展示会

のき市は、志佐町の若手経営者たちが店舗の軒先に出店を並べて多くの人を呼び込もうと、昨年からは月1回開催されており、今年で1周年を迎えました。

これを記念し、のき市1周年記念展示会が7月4日から6日までの3日間、海のふるさと館漁村体験施設で開催されました。

展示会には、オーダースーツや焼きたてのパン、かき氷など、3日間限定の商品も販売され、開催された3日間は1,000人を超す来場者でにぎわいました。



松浦よかとか案内人に認定!

第1回まつうら観光検定

「第1回まつうら観光検定」(まつうら観光物産協会主催)が6月28日、きらきら21で開催されました。

今回が初めてとなる「ご当地検定」に市内外から26人が受検し、松浦の歴史や文化、名所などの問題に挑みました。この検定では、正解率60%以上を獲得した人は「松浦よかとか案内人」に認定され、同協会から認定証が発行されます。

受検者たちは、検定が始まると集中して問題に向かいました。この日の受検者は、全員が合格するという快挙を成し遂げました。



大切な命を救うために

応急手当講習会

応急手当講習会が6月28日、松浦市消防署で行われました。

この講習会は、身近で意識をなくした人を見つけた時、救急車が到着するまでに大切な命を救えるように、一人でも多くの人に応急手当の技術を学んでほしいと開催されました。

受講者たちは、応急手当などの講義を受けた後、実際に心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)を操作するなど、熱心に質問しながら学びました。

